

# 協働ニュース 第6号

令和5年度からスタートする  
協働事業提案制度事業



## 協働の事例紹介

今回は、市民と行政が協働して事業を行う「協働事業提案制度」として、令和5年度から新たに実施する4事業を紹介します。

### 協働事業提案制度とは

協働事業提案制度とは、公共的課題について、市民のみなさまと行政が、互いの持つ資源（知識・経験・人材・情報・資金など）を結集し、協働することによって効果的に解決していくためのひとつの仕組みです。提案をいただいた場合、市民と行政による協議を行い、外部の審査を経て翌年度からの事業実施を目指します。制度創設の平成20年度から現在まで、計82事業を実施してきました。

市民が自由に事業を提案する「市民提案型協働事業」と、行政が特定の課題（テーマ）を提示する「行政提案型協働事業」があり、市民提案型協働事業の提案を行うためには、4月末までに一度ご相談いただくことが必要になります。何かやってみたい！と思った方は、まずは市民協働推進課（042-769-9225）までご連絡ください！

詳しくは  
こちら！



#### 市民提案型

### 里山保全・再生と活用の モデル検討事業

特定非営利  
活動法人

自遊

森林 クラブ  
政策課

森林面積が市域全体の約6割の相模原市には、街に接する里山林が多く、中には手入れや再生が行き届いていないものもあります。その保全と再生を図るため、森林を活用したアクティビティや、植林、間伐体験などを通して、里山林の積極的な活用を行います。

この事業は「自遊クラブ」の他にも、「ヘリテッジキーパー」「さがみ湖森・モノづくり研究所」も協力団体として加わり、市を含めた4者の協働で事業を実施します。



#### 市民提案型

### 「さがみん条例」の普及啓発につ ながら相模原市オリジナル教育プ ログラム＝「シビックプライド向 上ゲーム」開発事業

相模原市の魅力を「パズルとクイズカード」で遊びながら学べ、シビックプライドを育む教育プログラム（ゲーム）を開発する事業です。



パズル・クイズカード  
イメージ

市内にある22のまちづくり地区について、市民のみなさんが作成したクイズをカードにし、パズルと組み合わせたゲームを作成します。自分たちのまちについて知り、考えることで、今まで以上に相模原が好きになるかもしれません。こどもから大人まで、ゲームに挑戦してシビックプライドを向上しましょう！

相模原市  
印刷広告  
協同組合

観光・  
シティプロ  
モーション課

# 「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成

城山地区における特徴的な自然散策とe-bike（電動スポーツバイク）を組み合わせ、アクティビティ要素を加えた体験型観光ツアーを展開していきます。

橋本駅からバスで10分！一番身近な里山をe-bikeで駆け抜けてみませんか？城山を知り尽くした観光協会と市がコラボレーションすることで、遠方の方も地元の方も楽しめるコンテンツとなること間違いなし！ツアーだけでなく観光の拠点としても自然の家を開放しますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



城山自然の家

# 野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業

野生動物との共生の会  
緑区役所  
区政策課

野生鳥獣による農作物の被害の状況やその対策を知ってもらいつつ、野生動物と人間との共生について考える場をつくる事業です。

市のイベントや商業施設等で、市内で捕獲された鳥獣（シカ、イノシシ）の皮を使ってストラップ等をつくるワークショップを実施します。この団体には現役の猟師の方もおり、鳥獣被害の現状や対策についてはもちろん、実際に鳥獣に対峙している経験を活かし、生物多様性やいのちの大切さについても学ぶことができます。



## 地域活動・市民活動ボランティア認定制度

～多くの学生を認定しました～



一定時間以上の地域貢献活動を自主的に行った大学生及び大学生によって構成される団体に対して、市として認定を行う「相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定制度」の認定証贈呈式を令和5年2月22日（水）に開催し、多くの学生（認定者）にご出席いただきました。

この制度は市が\*1包括連携協定締結大学と協働し、平成26年度から実施していますが、今年度は過去最多の89名及び6団体を認定し、学生によるボランティア活動の盛り上がりを感じられました。

子ども食堂や学習支援活動、市民活動に対する中間支援やまちづくりに関するものなど、活動内容は多岐に渡ります。



認定証の贈呈が終了した後、認定者を代表して、\*2大学生等未来応援事業や、\*3はたちのつどい実行委員として活動した廣岡 莉帆さんからあいさつをいただきました。廣岡さんはあいさつの中で、活動を通して「相手に寄り添う気持ちの大切さ」や「相手に喜んでもらえることに対するやりがい」を感じたと話していました。

あいさつをする  
廣岡さん



認定されたみなさま、学業の合間を縫ってボランティア活動に取り組んでいただき、ありがとうございました！！

\*1包括連携協定 ... 地域の課題解決等を目的に、様々な分野に関する連携を推進するための協定。相模原市は市内外の13大学と締結している。

\*2大学生等未来応援事業 ... 市内の大学生等に、寄付された食材等を提供する事業。

\*3はたちのつどい実行委員 ... 成人の日に20歳の方をお祝いする「はたちのつどい」の実行委員。区ごとに構成され、開催に向けた企画から当日の司会等を行う。



贈呈式終了後、出席したみなさんと市職員で懇談を実施しました。

### 編集後記

今回は協働事業提案制度事業の紹介をさせていただきました。割合としては行政提案型より市民提案型の方が多いので、この割合を少しでも五分に近づきたい、という思いもあつたりします...。市民のみなさまからの自由な提案ももちろんですが、行政からの課題（テーマ）の提示も大募集していますので、これを読んだ市職員の方は、自分の所属で市民の方と協働で取り組める案件がないか、ぜひ探してみてください！そして市民協働推進課までご相談を！！